

ティアニー先生の診断入門

ローレンス・ティアニー・松村 正巳 著

茅ヶ崎徳洲会総合病院・院長

亀 井 徹 正

『ティアニー先生の診断入門』は卓越した臨床家であるローレンス・ティアニー先生が松村正巳先生とともに日本の研修医を対象にして書かれた診断学の入門書である。しかし、本書は通常の入門書とは一味も二味も違い、ティアニー先生ご自身の診断のプロセスを解説した極めて貴重な教科書となっている。

ティアニー先生に接した人は皆その膨大な知識量と分析力に圧倒されるが、その診断の進め方は極めてオーソドックスであり、病歴から鑑別診断をもれなく挙げ、身体所見で絞り込み、必要な検査にて確定診断に持ち込むものである。

しかし、臨床の現場では皆がティアニー先生のように鑑別診断できるわけではない。鑑別診断の森の中で迷子にならない為には、基本に忠実である大切さが繰り返し強調され、また、診断能力を磨くうえでの秘訣

の一端がクリニカルパールとして本書のあちこちにちりばめられている。

第1部はティアニー先生ご自身の診断法が紹介されており、診断学を学ぶ人に対して多くの示唆に富む基本的な考え方、アプローチの仕方が示されている。

第2部は松村先生の経験された症例をティアニー先生とともに、あるいはティアニー先生の診断の進め方にならって松村先生ご自身が、その診断のプロセスを初心者にも理解しやすいように提示している。提示された12症例は、ありふれた疾患からまれな疾患まで多彩であるが、鑑別診断の挙げ方、それぞれの絞り込み方をティアニー先生のやり方で示し、診断学の奥行きの高さ、醍醐味を余すところなく伝えてくれる。

感染症コンサルタントの青木眞先生のご紹介がきっかけで、ティア

ニー先生には1996年から毎年のように私どもの病院を訪れていただき、短期間ではあるが研修医の指導に当たっていただいている。この期間中は、先生のカンファレンスに参加するために多くの院外の研修医や医学生が当院を訪れる。参加者皆が診断学の面白さ奥行きの高さを感じ取り、その高みに到達する困難さを理解しつつも大きな目標を見つけて帰るようである。

本書は初期研修医ばかりでなく、特に後期研修医や研修医の指導に当たっている指導医の先生方にとっても大変に参考になる教科書であり、松村先生のお力により、この素晴らしい本を日本語で読めることを感謝したい。

●A5 頁152 2008年 定価3,150円
(本体3,000円+税5%)

——医学書院 刊(☎03-3817-5657)